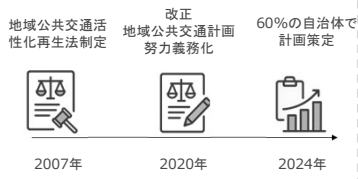
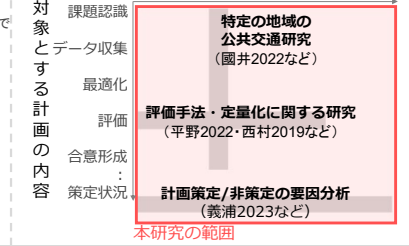


背景・目的

政策的背景



既存の研究



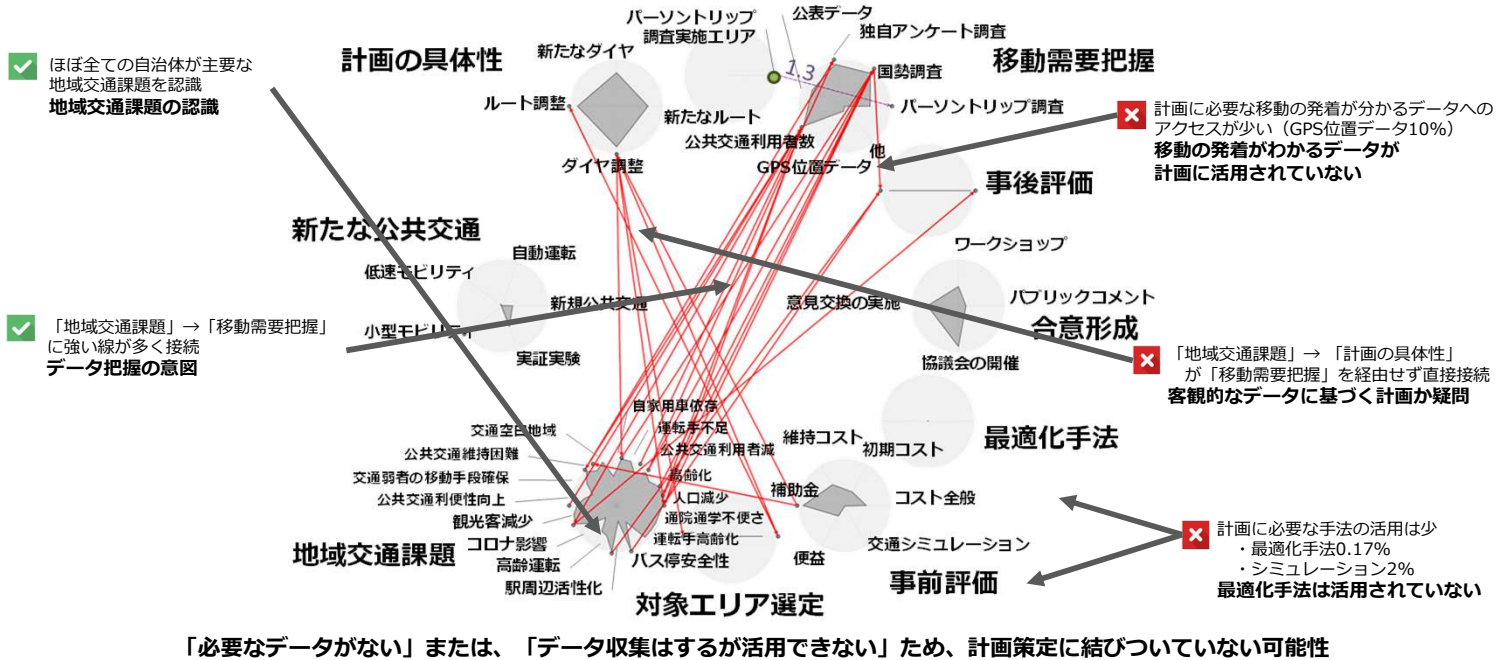
【目的】全国の市町村が策定した地域公共交通計画の記載内容を横断的に分析し計画内容の実態と課題を明らかにする

方法

- Web検索で収集**
 - 「〇〇県 〇〇市 交通計画」でウェブ検索、PDFファイルを取得
 - ・道路交通計画・交通安全計画は除外
 - ・収集結果：全国1202件（全自治体の約7割）
- 政策決定プロセスを計画記載内容でデータ化**
 - ・各計画の記載項目を1/0でバイナリ化（記載有=1、記載無=0）
 - ・9つの大分類、48の小分類で記載内容を分類
- クラスタリング（K-means法）、関連性の分析**
 - ・計画記載内容で似たパターンの自治体をグループ分け
 - ・記載内容の関連性の分析

大分類（9つ）	記載項目（48小分類）
地域交通課題	人口減少、高齢化、公共交通利用者減少、自家用車依存、高齢運転者事故、駅周辺活性化、運転手不足、運転手高齢化、交通空白地域、公共交通維持困難、交通弱者移動手段確保、公共交通利便性向上、バス停危険性、通院・通学不便さ、観光客減少、新型コロナ影響
移動需要把握	パーソントリップ調査、国勢調査、独自アンケート調査、アンケート調査、県・市町村公表データ、既存公共交通利用者数データ、GPS位置情報等ODデータ、四段階推定法等需要推計手法
最適化手法	路線最適化手法、ダイヤ最適化手法
エリア選定	エリア選定方法、具体的地域名
事前評価	費用全般、初期費用、維持費用、補助金、効果・便益、交通シミュレーション
合意形成	パブリックコメント、ワークショップ、意見交換、協議会開催
新規交通導入	新規公共交通路線、自動運転車、グリーンローモビリティ、小型・パーソナルモビリティ、実証実験
計画具体性	新ルート・路線、新ダイヤ、路線・停車場調整、ダイヤ調整
事後評価	中間・事後評価方法、評価項目設定

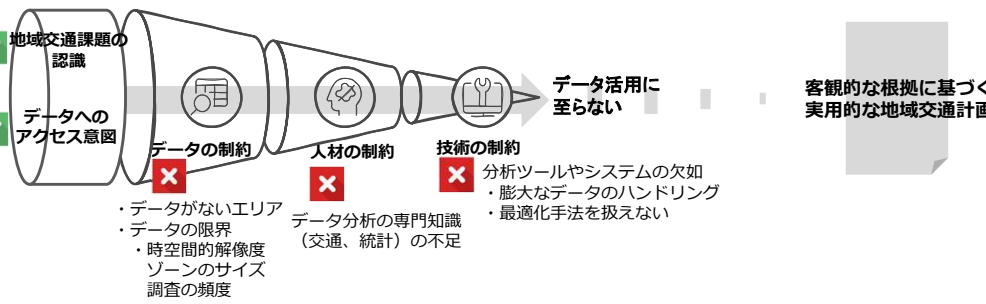
計画の記載内容の分析結果



「必要なデータがない」または、「データ収集はするが活用できない」ため、計画策定に結びついていない可能性

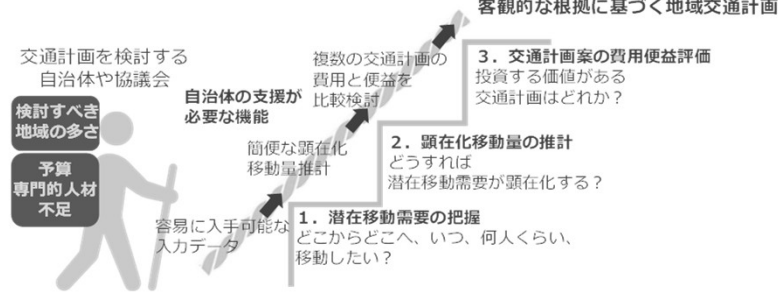
まとめ

- 全国の1202市町村が策定した地域公共交通計画の記載内容を横断的に分析し以下の点を考察
 - ・ほぼ全ての自治体が主要な地域交通課題を認識、90%がアンケート実施するなど、様々なデータにアクセスを試みる
 - ・しかし、必要なデータにアクセスできない、データ活用できない（人材の専門知識、技術的制約）
 - ・そのため、計画に反映できず、客観的な根拠に基づく実用的な地域交通計画が策定されていない可能性がある



●今後の課題

交通計画支援ツールの開発



交通計画支援ツール

潜在移動需要推計ツール

最適な手段やルート提案ツール

開発中